

平成 29年度学校評価(1学期末評価・中間評価)

学校名 大分県立日田支援学校

前年度評価結果の概要
重点目標1 ○ PATHの技法を取り入れた支援ミーティングは対象の児童生徒に実施できている。また、ミーティングを実施して明らかになった指導内容について、個別の指導計画に位置づける手順についても確立できた。
重点目標2 ○ 授業力自己診断シートを活用して自己の指導力を振り返り、授業づくりミーティングにより個々の課題を改善するとともに、教材・教具についても工夫改善が成され、教育の質の向上につなげることができた。
重点目標3 ○ 県西部の特別支援教育の充実と災害時を想定して取り組んだ防災対策については、災害時の一斉メールの整備や防災マップの完成等一定の成果を上げることができた。
● 今後は、個別の指導計画に位置づけた指導内容が、一人一人のキャリア発達に直結する最近接領域となり、卒業後を見据えて「自分らしく生き抜く力」となるような取り組みが求められる。
● 教員一人一人が課題意識を持って授業改善に臨んでいるが、児童生徒の発達段階を踏まえた上で、一人一人のニーズに合った指導ができる力量をさらに高めるための「学び合い」「高め合う」教員組織の構築が必要である。
● 今後は特別支援学級への支援の強化と災害時を想定した自治会との連携など、さらに安心安全な環境の整備が求められる。

学校教育目標 中期目標 重点目標
児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行い、その可能性を最大限に高め、心豊かでたくましく、みんなとともに自分らしく生きる力を養い、自立と社会参加を目指す人間を育成する。
①卒業後の姿を見据えた、小学部・中学部・高等部での一貫教育の徹底・推進
②障がいの重複化・多様化に的確に対応するため、個々の専門性の向上と組織力の強化
③県西部地域におけるセンター的機能の強化と、家庭・地域との協働の推進及び安心・安全な学校作り
(1)キャリア発達を踏まえ、卒業後を見据えた「自分らしく生き抜く力」の育成
(2)学び合い、高め合う教員組織の構築と授業改善
(3)保護者・地域・関連機関とのさらなる連携強化と安心・安全な学校づくり

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

Table with 8 columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL/SL, 評価, 重点的取り組み・取り組み指標の実践, 今後の改善策, 学校関係者評価.
(1)キャリア発達を踏まえ、卒業後を見据えた「自分らしく生き抜く力」の育成
(2)学び合い、高め合う教員組織の構築と授業改善
(3)保護者・地域・関連機関とのさらなる連携強化と安心・安全な学校づくり

